

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/3/16

No. 32

賛同署名総数は	168,339
3/15まで	
*オンライン署名	5,910
*署名用紙署名	162,429

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

みやぎ生協・コープふくしまは東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。

オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。
HPまたは事務局へお問い合わせ願います。



スマホはこちらから

●国民・県民の世論は。

◆原発全国世論調査 処理水海洋放出 反対35%、分からない32%

●福島県知事「十分な理解得られていない」

・日本世論調査会がまとめた原発に関する全国世論調査によると、東京電力福島第一原発の処理水を薄めて海に放出する処分方法について「反対」35%「賛成」32%、で賛否が拮抗している状態で、「分からない」も32%に上ったそうです。東電は2023年春ごろの海洋放出開始を目指していますが、国民の理解が割れている現状が浮き彫りになる結果となりました。賛成の理由は「IAEAが『国際的慣行に一致する』と認めている」が47%で最多。反対の理由は「環境汚染や健康被害につながると思う」が58%と最も多かったそうです。

◇賛否両論あり判断できない方もたくさんいる現状ですが、反対理由の多くが「健康被害」「環境汚染」という点から、放出されてしまったら風評につながる事が想像できます。

<福島民報2022.3.7>



◆海洋放出 国内外「理解広がらず」52.5% 政府の説明不足裏付け

・福島民報社と福島テレビが共同で県民世論調査(第36回)を実施しました。処理水を海洋放出する政府方針について、国内外での理解が広がっているかを尋ねたところ「全く広がっていない」「あまり広がっていない」との回答が合わせて52.5%に上ったそうです。「かなり理解が広がっている」「少しは理解が広がっている」との回答は合わせて38.7%だったそうです。全国世論調査でも処分方法に国民の賛否が割れる中、国内外での理解が浸透していないと感じる県民が多い実態が明らかになり、改めて政府の説明不足を裏付ける形となりました。

4・8報告集会開催案

昨年6月から、スタートしました「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」は、おかげさまで3月14日現在168,152筆となり、3月下旬に国と東京電力へお届けする予定です。要請行動の報告と合わせ、署名に取り組んでいた全国のみなさまと交流し、更なる運動を展開していけるよう報告集会を開催いたします。たくさんの方にご参加いただければと思います。よろしくお願いいたします。

- ・日時 4月8日(金)10~12時
- ・会場 フォレスト仙台 2F第1フォレストホール(会場定員50名)
※ZOOMにてオンライン配信を行います(見逃し配信アリ)
- ・内容 ①署名提出、要請行動など呼びかけ人団体より取り組み報告
②全国の取り組み状況紹介 ③今後の運動提起
- ・申し込み方法
下記メールアドレスに団体名・お名前、メールアドレス、電話番号、参加方法をお知らせください ※申し込み〆切 3月31日(木)
- ・お問い合わせ・お申込み先
みやぎ生活協同組合 生活文化部くらしの活動推進課 池町江美子
e-mail sn.m11417ei@todock.coop 電話 022-347-3826

【学習会を考えられている皆様へ】学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 央戸)

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop(根本)



<福島民報2022.3.8>

漁業者との約束守る

東京電力の小早川社長は7日、共同通信の単独インタビューにオンラインで応じ、海洋放出を巡り「関係者の理解なしに、いかなる処分もしない」とした地元漁業者との約束を「順守する。理解を得られるように取り組みたい」と述べた。約束は、東電が2015年8月に福島県漁連に文書で示した。小早川氏は「まずは風評被害が起きないようにするのが重要。愚直に、地道に対策を積み重ねていく」と述べ、国内外での不安払拭に努めると強調した。廃炉後の姿については「廃炉の最終形は、作業の進捗や原子炉の状況などを見極めながら判断していくべきものだ。今の段階では見通せない」と述べた。

◆東京電力社長「漁業者との約束守る」

・東京電力の小早川社長は7日、共同通信の単独インタビューにオンラインで応じ、海洋放出を巡り「関係者の理解なしに、いかなる処分もしない」とした地元漁業者との約束を「順守する。理解を得られるように取り組みたい」と述べた。約束は、東電が2015年8月に福島県漁連に文書で示した。小早川氏は「まずは風評被害が起きないようにするのが重要。愚直に、地道に対策を積み重ねていく」と述べ、国内外での不安払拭に努めると強調した。廃炉後の姿については「廃炉の最終形は、作業の進捗や原子炉の状況などを見極めながら判断していくべきものだ。今の段階では見通せない」と述べた。

◇「約束を守る」の裏に思惑が見えますが、世論の動きが小早川社長の発言に影響を及ぼしているのを感じます。ぜひ約束を守ってもらいたいものです。

<編集後記>erikoのつぶやき

コープふくしま方木田店にマカロンの自動販売機がお目見えしました。マカロンを自販機で買えること自体画期的ですが、なんと、可愛すぎるアニマルマカロンが冷凍状態で買えちゃいます。フランボワーズ、抹茶、きなこ、イチゴ味...かわいだけじゃなくしっかり美味しい♪種類によって違った表情を楽しめるのも魅力のひとつ。手土産に、自分へのご褒美に、足しげく通ってしまいそうな編集者です。

